

# ロシア航空機リースで保険金

## 三井住友系、100億円受領

### 機体回収困難

三井住友ファイナンスがロシアからの経済制裁に伴い、同国内から回収している航空機リースのSMBCAアビエーションキャピタル(AC)は、同国内に留め置かれていた。3日、ロシアの航空会社にリースした航空機の一部について保険金7億1000万(約1000億円)を受け取ったと発表した。

表した。ロシアへの経済制裁に伴い、同国内からの機体回収が困難になっていた。同国内に留め置かれていた34機のうち、ロシアの航空会社アエロフロート向けにリースしていた16機の保険金が支払われた。ロシアの保険会社NKが支払った。今回の問題を巡りSMBCACが保険金を受け取るのは初めて。ウクライナ侵攻に伴う西側諸国による経済制裁へのロシア側の反発で、機体回収のめどが立っていない。SMBCACは三井住友ファイナンス&リース

が7割弱、三井住友銀行が3割強を出資する。ロシアからの機体が回収困難になったことを受け、2022年3月期と23年3月期に累計で機体簿価の79%を減損処理した。三井住友FGの利益を22年3月期に470億円、23年3月期に340億円下押ししていた。保険金の受領に伴い三井住友FGは23年4と12月期に3億1100万(約1100万円)の持ち分法投資利益を計上する。今後、24年3

月期の通期業績予想への影響を精査する。三井住友リースも23年4と12月期に5億3900万(約5390万円)を特別利益として計上する。SMBCACは「今後もアイルランドの裁判所において自社の保険契約に基づいて訴訟手続きを進めるとともに、その他のあらゆる手段でロシアに留め置かれている航空機に関連する損失軽減に努める」とのコメントを公表した。